



教育委員コラム

発行元
弟子屈町教育委員会
委員長・教育長 小林 俊夫
職務代理 小澤 重
委員 榎本 悦子
委員 菅原 誓之
委員 金井 秀明



弟子屈町教育委員会
〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号 弟子屈町役場
電話:015-482-2945 HP:<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

教育委員リレーコラム

ホーチミンの若者の高い語学力に驚きました

委員 榎本 悦子

昨年11月、娘婿が駐在しているベトナム、ホーチミンに家族で行きました。

海外に行っても思うのは、外国語、特に英語の必要性です。中国や韓国などアジア圏でも若い人達の英語力は高く、英語の他に更に外国語をマスターしているのに感心しますが、今回ホーチミンでも同じような体験をし、日本の子供達が大人になって対等に話すことができるのかと不安になりました。



ホーチミンの観光名所で、大学生のグループが外国人にベトナム観光についてアンケートをとっていましたがとても流暢な英語でしたし、小さな路地で食べ物屋さんの場所を尋ねた5・6才の子供には「What kind of food would you like?」と聞かれ驚きました。

また、公園を散歩していると聞き覚えのあるソーラン節が流れていて、近くに行くと見ると高校生が「よさこいソーラン」を踊っていました。高校の日本語クラブの生徒さん達で、「先生の日」に披露する為練習しているのだと日本語で説明してくれました。

私が接したホーチミンの若者は特に優秀ということではなく一般的な市民だと思います。外国とは陸続きで、他国と関わらざるをえなかった歴史もあるのでしょうか、若者は母国語のように英語を話していてベトナムの勢いさえ感じました。

さて、日本の子供達、弟子屈町の子供達はどうかしたら英語を話せるようになるのでしょうか。今以上に何かをしなければいけません。将来、他国の人達と色々な場面で交わることを考えると英語は絶対必要だと感じた旅行でした。

(次回のリレーコラムは菅原委員です。)

教育あっちこっち情報



英語資格について

教育委員 金井 秀明

実用英語技能検定（英検）やTOEICなどの英語検定の事を聞いたことがあると思います。中学卒業段階で英検3級、高校卒業で準2級を習得することが望ましいとされています。この資格は必修ということはないのですが、今後ますます必要とされて来るでしょう。各大学によって基準は違いますが、一定の資格を超えていると入学試験免状や加点されることがあります。これは就職でも同様で採用基準や給与に加味されます。教員採用試験では自治体によって違いはありますが、試験の一部免除や加点（総合得点にも）されます。中学校の英語教員ではありません。今後の小学校英語教育を受け、小学校教員の採用試験でも考慮される自治体が増えてきています。英語の先生だけでなく、小学校の先生も英語が必要な時代が近づいているようです。



「弟子屈小学校卒業式」

教育委員 菅原 誓之

3月21日、第117回となる弟子屈小学校の卒業式に出席させて頂いた。33名の卒業生は真新しく、ちょっと大きめの学生服を着用し、沢山の父母に見守られながら入場してきました。一人一人呼名され、校長より卒業証書を受け取った児童達は、堂々としていてさっそく中学生らしい姿を見せてくれました。式も終わりに近づいた頃、サプライズ演出で担任・副担任の先生へ児童達が作った思い出の写真を、スライドと映像にして映し出された。それを見た先生達は目頭を熱くし、1年間の思い出を名残惜しそうに振り返っている様子でした。



弟子屈中学校吹奏楽部 「フェアウエルコンサート2017」！

教育長 小林 俊夫

恒例となっている弟中吹奏楽部の「卒業生部員さよならコンサート」に約100名の皆さんが駆け付け、素晴らしい演奏に大きな拍手を送っていました。第1部は「ハナミズキ」と「虹」を1年と2年で演奏。嶋津希穂部長の挨拶の後、嶋津希穂さん・猿谷優衣さん・藤田一輝君・下野麻実教諭の4名でサクソフォン四重奏「民謡風ロンドの主題による序奏と変奏」と齊藤尚輝君のトランペットソロ「幻想曲変ホ短調」の演奏を聞かせて頂きました。休憩を挟んで第2部は「ディズニーメドレー」と1年と2年に弟高吹奏楽部が加わり「キセキ」を演奏。続いて弟中全員で「スタジオジブリ名曲集」と弟中弟高合同による「北の大地～Singers selection」を演奏。最後にアンコールに呼んで全員で「ルパン3世」等を演奏して終了。卒業生には今後も音楽に親しむ生活を送って欲しいものです。最高の演奏会ありがとうございました。



美留和小学校の卒業式に参列しました

教育委員 榎本 悦子

24日は美留和小学校の卒業式・修了式でした。少人数の学校で兄弟もいるのですから、いつもは家族のようにしているのですが、各学年それぞれ緊張感をもって大きな学校に負けない式典を作り出していました。大規模校では一言、二言の呼びかけも、二人の卒業生は沢山言う場面がありましたが、間違えることなく二人で協力して立派な呼びかけでした。最初は一人だったのが、三年生から二人になったということで、同級生がいるのはやはり素晴らしいことと実感しました。四月からは弟子屈中学校生です。沢山の同級生の中で、学習に部活動に、今の頑張りを活かしてください。



「摩周丘幼稚園卒園式」

委員長職務代理 小澤 重

3月19日（日）平成28年度の卒園式に出席いたしました。今年の卒園児は前年と同じ21名です。鈴木園長先生から、それぞれに卒園証書を受取る姿や、徳永町長さんの祝辞を聞く態度も立派でした。園長先生の挨拶で、「子供達の結婚するまで見守りたい」の言葉が心に強く残りました。弟子屈小学校佐野校長先生の「4月から学校で待っています」の呼びかけに子供達の目が輝いていました。式の終わりに、お父さん・お母さん・家族の皆さんの前で、一人でお礼の言葉を述べる場面でも、落ち着いてとても感心しました。4月からは、新一年生！健やかに成長します様心より願っています。



★ ★ 編集後記 ★ ★

長い冬も終わり、いよいよ4月となりましたが、ちょっと遅めのインフルエンザが流行っているようです。これからは新入学や就職の大事な時期です。体調や健康管理にはくれぐれも注意したいものです。自分も含めてですが・・・。
(菅原)